

Friendly Awara

VOL.18



動画「市民が語る生前の藤野先生」配信開始（あわら市役所）
（左から後藤ひろみさん、小川浩之さん、徳丸健一さん）

～会長挨拶～

会員の皆様におかれましては、当協会の事業推進及びあわら市・紹興市両都市間の相互理解と交流事業の促進にご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。

令和3年度は、2年振りに総会を開催し、多くの会員の皆様にご出席いただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。

一方で、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、中国からの訪問団の受入や国際交流派遣事業が実施できなかったことは非常に残念に思います。

しかしながら、8月から、福井県内の有志の方々に作成いただいた動画「市民が語る生前の藤野先生」を市役所や藤野巖九郎記念館で放映するほか、市公式YouTubeチャンネルでも配信を開始し、藤野巖九郎の功績を広く周知しているところです。今年は、日中国交正常化50周年という節目の年でもあり、是非とも紹興市の皆様にもご視聴いただき、あわら市と紹興市の友好交流が更に飛躍する契機となることを期待しています。

未だ、日本をはじめ世界の各地域では、新型コロナウイルス感染症による生活面や経済面等への多大な影響が続いておりますが、1日も早く正常な状態に戻ることを願うばかりです。

また、やむなく中止となっている教育交流をはじめとするあわら市と紹興市の友好交流につきましては、来るべき再開の際には、本協会といたしましても、しっかりと後押しして参りたいと考えておりますので、引き続き、会員の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



齊藤会長

動画「市民が語る生前の藤野先生」が完成

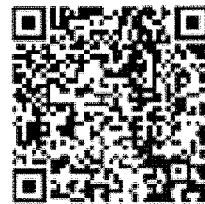
生前の藤野巖九郎を知る市民の方が少なくなっていることを踏まえ、市と当協会では、巖九郎の功績を広く周知するとともに、末永く顕彰していくため、動画「市民が語る生前の藤野先生」を制作し、巖九郎の命日である8月11日(水)に動画の配信を開始しました。

この動画は、藤野家の菩提寺である福円寺(あわら市下番区)副住職の藤共生氏、「ふくい歴女の会」会長の後藤ひろみ氏のほか、撮影・編集には、内閣府の「クールジャパンコンテスト2020」の動画部門で最優秀賞を受賞された小川浩之氏にそれぞれご協力いただき、生前の藤野巖九郎を知る市民の方々にインタビューを行い、“地元民だけが知っている”藤野巖九郎との貴重なエピソードをまとめたインタビュー映像となっております。

なお、動画は、市役所1階「贅沢スペース」や藤野巖九郎記念館で放映しているほか、市公式YouTubeチャンネル「あ!わらってネット」でも配信しています。

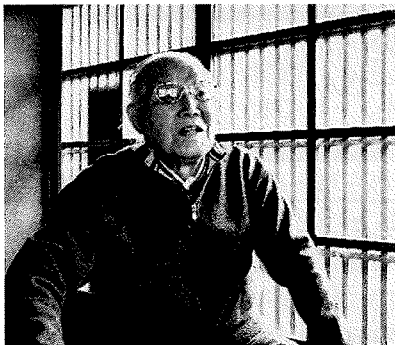


【動画】市民が語る生前の藤野先生

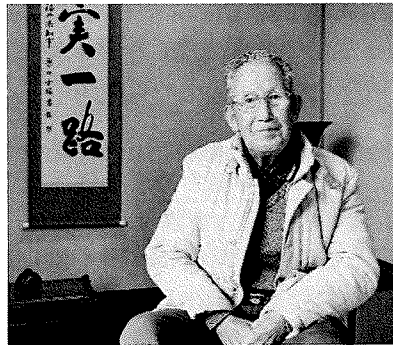


こちらから
ご視聴いただけます。

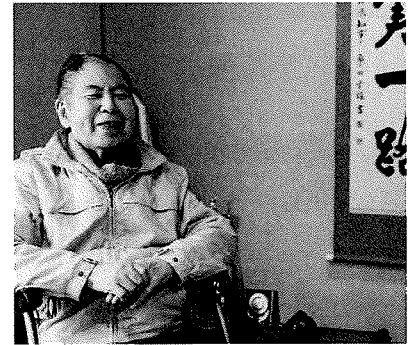
○インタビューにご協力いただいた方々



土田岩男さん



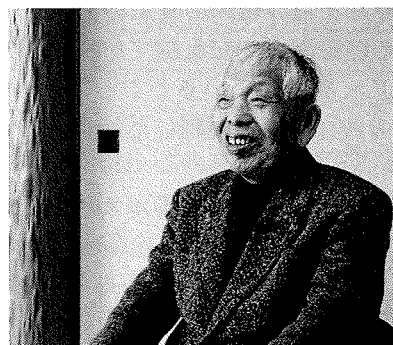
藤井正夫さん



藤井茂博さん



蓮池富子さん

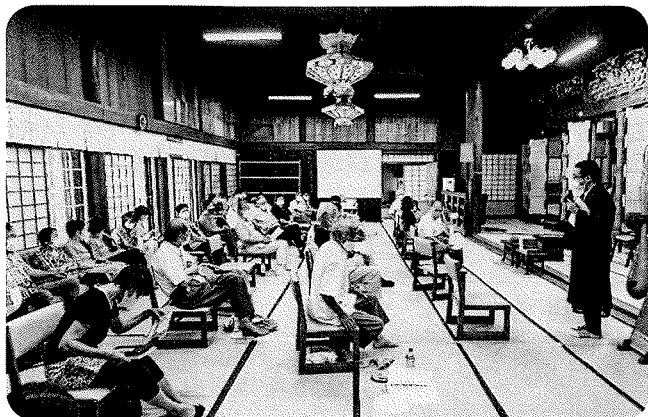


米倉敏夫さん



竹内美年子さん

また、同日（8月11日（水））には、福円寺にて藤野巖九郎を偲ぶ「惜別忌」が行われ、当協会も参加しました。

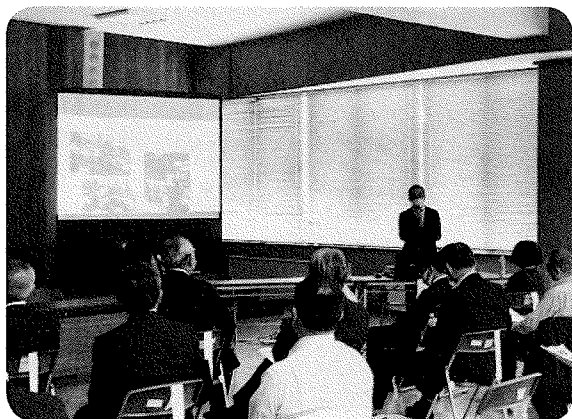


惜別忌（福円寺）

福円寺本堂裏にある墓前で法要に参列した後、「中国人からみた小説『藤野先生』』と題し、大阪市在住で華僑二世の徐桂国氏がオンラインで講演を行いました。

その後、動画「市民が語る生前の藤野先生」を視聴し、動画制作に携わった後藤さんや小川さんが、「これは、後世に残していかないといけない」、「貴重な映像を残せたことに感動している」と制作に関する思いを披露されました。

令和3年度あわら市日本中国友好協会総会開催



報告会（あわら市役所）

令和3年5月14日（金）、あわら市役所において、2年振りにあわら市日本中国友好協会総会が開催されました。

総会後の報告会において、福円寺副住職の藤共生氏から、「市民が語る生前の藤野先生プロジェクト」について報告いただき、「巖九郎の話を自分が聞くだけではもったいない、残さなくては。と思った」と動画制作のきっかけ等を話していただきました。

「故郷」（魯迅著）発表100周年記念活動

令和3年10月29日（金）、紹興市文広旅游局（紹興市観光部）主催で、紹興魯迅中学及び韓国京一観光高等中学とオンライン授業交流が芦原中学校において開催されました。このオンライン交流では、文広旅游局の何局長による紹興市の紹介のほか、魯迅中学の教師による魯迅の「故郷」について授業が行われました。

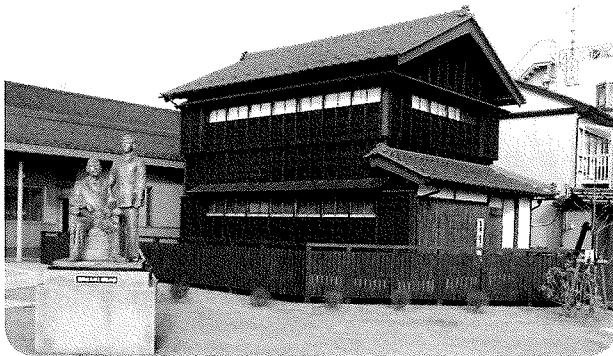
当日は、同時通訳で授業が行われ、意見交換時には、芦原中学校の生徒が、「故郷」に関する質問のほか、「藤野巖九郎を知っていますか？」という質問をするなど、約1時間にわたり交流が行われました。



オンライン授業交流（芦原中学校）

【藤野巖九郎記念館開館案内】

- 利用時間 午前9時～午後6時
 休館日 火曜日（祝日の場合その日以降の最初の平日）
 年末年始（12月29日～翌年1月3日）
 入館料 210円
 ※高校生以下の方または身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳もしくは療育手帳の交付を受けている方については無料
 場所 あわら市温泉1丁目203番地（湯のまち広場内）
 電話 0776-77-1030
 来館者数 令和3年度 1,298名（内中国の方34名）
 累計（昭和59年度～）53,575名（内中国の方6,661名）
 ※令和4年2月28日現在



藤野巖九郎記念館



“友好の証” ライラック

〈令和3年度の主な事業内容〉

令和3年度

- 4月23日 役員会（文化会館）
- 5月14日 総会（市役所）
- 8月11日 動画「市民が語る生前の藤野先生」公開
- 10月29日 オンライン授業交流 魯迅先生「故郷」（芦原中学校）

令和3年度訪中事業及び受入事業の中止について

令和3年度に予定されていた「あわら市日本中国友好親善少年使節団」及び「福井県立金津高等学校日中友好姉妹校訪問団」の派遣事業並びに紹興市等中国訪問団受入事業については、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を受け、実施を見送ることになりました。

編集後記

2年連続の訪中事業及び受入事業の中止は非常に残念ですが、新型コロナウイルス感染症が収束した際には、万全な態勢を整え、紹興市の皆様と交流が出来ることを願っています。